

# 1 翻訳時に知っておきたいポイント

## 1-1 異文化コミュニケーション：ハイコンテクスト文化とローコンテクスト文化

1970年に文化人類学者であるエドワード・T・ホール氏が、国や地域におけるコミュニケーションスタイルの特徴を表す「ハイコンテクスト文化」と「ローコンテクスト文化」という概念を導入した。ハイコンテクスト文化では、コミュニケーションの背景や文脈の共有度が高いため、はっきりと表現しなくても意味が通じることが特徴である。ホール氏がハイコンテクスト文化と分類する中東、アフリカ、アジアでは、その特徴を反映したコミュニケーションが目立つ。日本では、直接的な表現よりも曖昧な表現を選ぶ傾向があり、具体的な情報が省略されることが多いため、超ハイコンテクスト文化とみなされる場合がある。

これに対して、ローコンテクスト文化では、直接的で明確な表現が好まれ、言語の使用が重要視される。アメリカ、オランダ、オーストラリア、イギリスなどは、例外があるかもしれないが、一般的にローコンテクスト文化と呼ばれている。

こうした背景を踏まえ、郡山市が海外、いわゆるグローバル社会に情報発信を行う際には、このハイコンテクストとローコンテクストの違いに注意することが重要である。世界中の人々は、感覚や価値観を含めて実に多様であり、相手ごとに異なる特徴がある。相互理解を深めるためには、ローコンテクストなコミュニケーションアプローチを取ることが求められる。具体的には、メッセージの内容が日本人以外の人にも分かりやすいかどうかを確認することが必要である。書き手は、多様な文化的背景を持つ読み手の視点に立ち、メッセージを工夫することが求められる。ハイコンテクストである日本語をそのまま直訳すると、意味が伝わらない可能性が高く、読み手にストレスや不満を与えることもある。そのため、曖昧な表現は、できるだけ具体的にし、情報が伝わる表現に書き直すことが重要である。

ハイコンテクスト	ローコンテクスト
曖昧な表現	明確な表現
想像を膨らませるような表現	具体的な情報を提供する表現
行間を読む表現	誰にでも分かりやすい表現

例文	
ハイコンテキスト	ローコンテキスト
郡山市はラーメン激戦区。ご当地ラーメンをはじめ、各々のラーメン店がこだわりを追求し、バラエティ豊かな味を提供しています。	郡山市は、「郡山ブラック」という黒いスープで、醤油味のラーメンが有名です。それ以外に、「会津地鶏ラーメン」や「白河ラーメン」、「味噌ラーメン」も食べることができます。
「郡山市の魅力」	「郡山市のグルメ」「郡山市の観光地」「郡山市の風景」など
猪苗代湖の豊かな水を導いた一本の水路が、郡山市に繁栄をもたらしてくれました。	安積疏水を整備することで、猪苗代湖から水を引くことができ、郡山市に多くの田んぼや水力発電所ができました。このことで、郡山市は人口が増え、農業や産業が大きく発展しました。

### 説明

例1：ハイコンテキストの例文では、具体的にどのようなラーメンがあるかがわからない。英訳しても、外国人が必要としている情報が入っていない。

例2：ハイコンテキストの例文では、具体的にどのような魅力を示しているかがわからない。英訳しても、明確な情報を探している外国人にはあまり響かない。

例3：ハイコンテキストの例文では、「一本の水路」とはどの水路を示しているかがわからない。また、「繁栄」とは具体的にどのようなことかがわからない。

### 1-2 外国人の読み手を補助情報でより満足させる

ほとんどの外国人は日本の時代や歴史、習慣、文化などに馴染みがないので、英語の文章に補助情報を入れることで、読み手の関心をより引くことができる。

日本語	補助情報が追加された英訳
この建物は明治時代に建てられました。	This building was constructed in the Meiji era (1868–1912).

### 1-3 誇張的・比較的な表現についての注意

誇張や比較的な表現は、読み手に懸念や違和感を招くため、具体的な情報に置き換える。

例：郡山市は東北地方で第2位の経済規模を誇ります。

× Koriyama **boasts** the second largest economic hub in Tohoku.

○ Koriyama is the second largest economic hub in Tohoku.

### 1-4 文化財等の「指定」に対する英語表現と注意

文化財や天然記念物などの「指定」は外国人にとって、それほど興味の対象にならないので、「指定」については、タイトルや文頭で触れることはしない。「指定」について書くときは、“designated as”ではなく、“designated a National Treasure”のように表現して、頭文字を大文字にする。

日本語	英語
文化財	Cultural Property
有形文化財	Tangible Cultural Property
無形文化財	Intangible Cultural Property
重要文化財	Important Cultural Property
記念物	Monument
国宝	National Treasure
国指定史跡	National Historic Site
名勝	Place of Scenic Beauty
国指定天然記念物	Natural Monument
世界遺産	World Heritage

### 1-5 生成 AI や自動翻訳の使用についての注意

近代では、生成 AI や自動翻訳機の使用率が上がっているが、生成 AI や自動翻訳機ができるのは単純に言葉を置き換えることがまだ多い。生成 AI はより自然で文脈に応じた文章を生成する能力を持つが、それでも使用には十分な注意が必要である。軽率に生成 AI や自動翻訳を使用すると、誤訳や漢字の読み間違い、あるいは固有名詞が直訳されてしまったりすることで、英訳の質が落ち、伝わらない直訳になる可能性が高い。以下がその一例である。

例	○	×
郡山市	City of Koriyama	Koriyama City

安積疏水	Asaka Canal	Azumi Canal
こどものもり公園	Kodomo no Mori Park	Children's Forest Park

そのため、自動翻訳を使うときは、読み手の混乱を防ぐために、必ず以下のように自動翻訳機能により翻訳されているということをお知らせしなければならない。

日本語	英語
このページの内容は自動翻訳機能により翻訳されたため、文章が正しく翻訳されていない可能性があります。また、翻訳された内容は日本語のウェブサイトの原典と異なることもありますので、ご了承ください。	The content on this page is translated by an automatic translation service. Please note that the translation might not be entirely accurate. Also, the content may differ from the original Japanese page.

#### 1-6 多言語表記する言語の考え方やピクトグラム、ナンバリングの活用

多言語表記する言語については、多言語対応の対象となる情報の種類により、その都度、言語の選定を検討する必要がある。

例えば、施設の案内看板に表記する言語については、誰でも分かりやすく、読みやすくするために、少なくとも日本語と英語を表記するのが望ましい。その他の言語については、例えば、本市のインバウンド観光客または在住外国人の国籍等を鑑みて、視認性や美観に問題がない場合、必要とされる言語を併記する。

また、視覚的な図による表現ができるピクトグラムは、有効な補助情報となるため、スペースに応じて積極的に活用されたい。その際に、ピクトグラムで十分必要な情報を伝えることができる場合は、外国語の併記を必ずしも必要としない。

なお、駅名やバス停名、路線名などを多言語表記する際に、通し番号を表記(ナンバリング)することで、駅名やバス停名等に慣れ親しんでいない外国人にとって理解が容易となる。